

# Windows PE 版 起動メディア (CD/USB) 作成ガイド

本冊子には、起動メディア (CD/USB メモリ) 作成の最新の手順が記載されています。起動メディアを作成する際は、利用ガイドではなく、こちらを参照してください。

- ※ OS を含むバックアップイメージの復元や、CD/USB メモリ起動で操作を行う場合、予め起動 CD/USB メモリを作成しておく必要があります。

Microsoft は Microsoft Corporation の登録商標、Windows は同社の商標です。その他の商標は、それぞれ該当する会社が所有する商標です。

## **注意**

本冊子に記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。株式会社ライフボートは、本冊子あるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

## **EDITION**

September 2015

Copyright © 2015 by Lifeboat, Inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

## **PUBLISHED BY**

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <http://www.lifeboat.jp/>

# 目次

1. Windows PE 版 起動メディア作成の流れ .....	4
2. USB メモリに作成する(最も簡単な作成手順) .....	5
3. CD に作成する .....	9
4. アドバンスドモード .....	21
5. 起動メディアの動作確認 .....	26

## 1. Windows PE 版 起動メディア作成の流れ

ここでは、Windows PE 版の起動メディアの作成手順をご案内いたします。メディアは CD または USB メモリに作成可能です。


使用するメディアや、ご利用の Windows によって作成手順が異なります。

### 【対応 OS】


Windows 10/8/7

Windows Vista/XP につきましては、このプログラムでは対応いたしません。旧バージョンのプログラムをご利用ください。


#### 起動メディアを USB メモリに作成したい場合

 『2. USB に作成する』をご参照ください。  
最も簡単な作成手順です。

#### 起動メディアを CD に作成したい場合

 『3. CD に作成する』をご参照ください。WindowsADK を使用します。

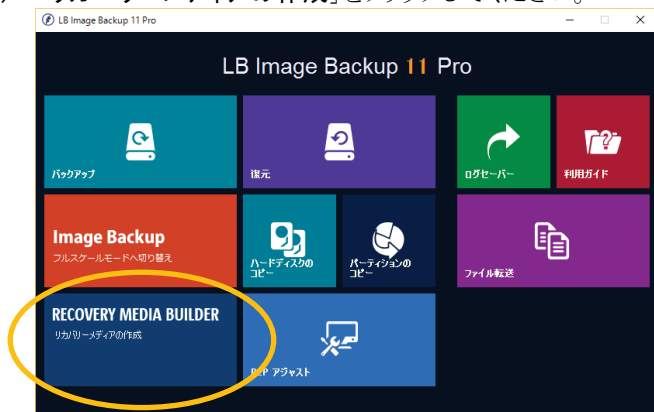
#### 起動メディアにネットワークドライブの設定を保存したり、 ドライバーを追加したい場合(上級者向け)

 『4. アドバンスドモード』をご参照ください。

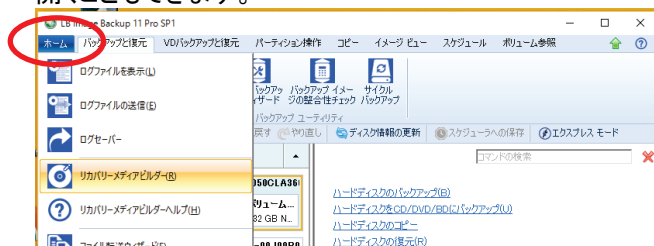
## 2. USBメモリに作成する（最も簡単な作成手順）

※ 使用するUSBメモリにあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

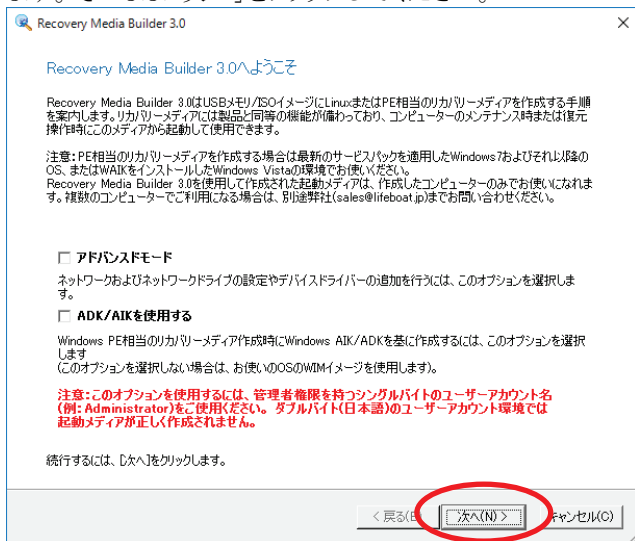
- (1) 製品をインストール後、デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックするか、「スタート」-「すべてのプログラム」-「(製品名)」をクリックして製品を起動してください。
- (2) 「リカバリーメディアの作成」をクリックしてください。



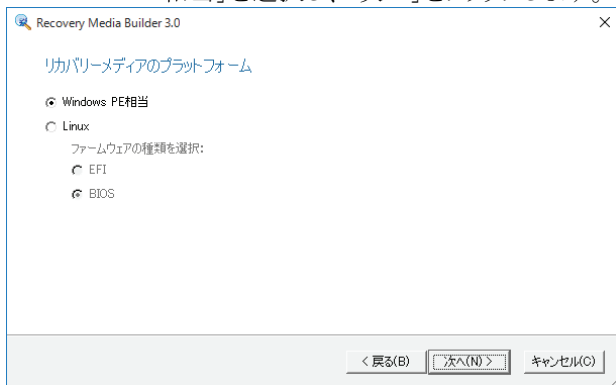
※ または、製品を起動後、「ホーム」-「リカバリーメディアビルダー」から開くこともできます。



- (3) Recovery Media Builder 3.0(リカバリーメディアビルダー)が起動します。そのまま「次へ」をクリックしてください。



- (4) 「Windows PE 相当」を選択し、「次へ」をクリックします。

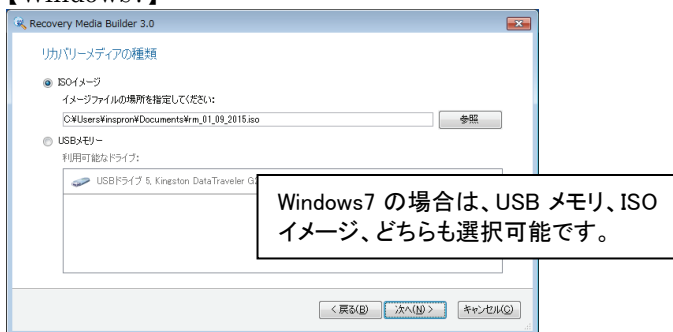


- (5) 書き込みたいUSBメモリを接続してください。リスト内に機器が表示されましたらクリックして、「次へ」をクリックします。

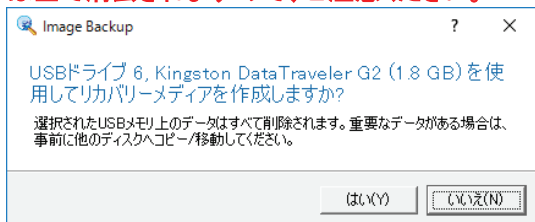
### 【Windows8/10】



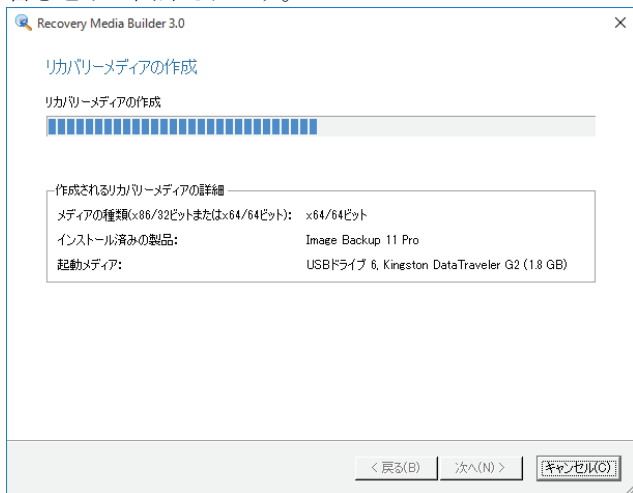
### 【Windows7】



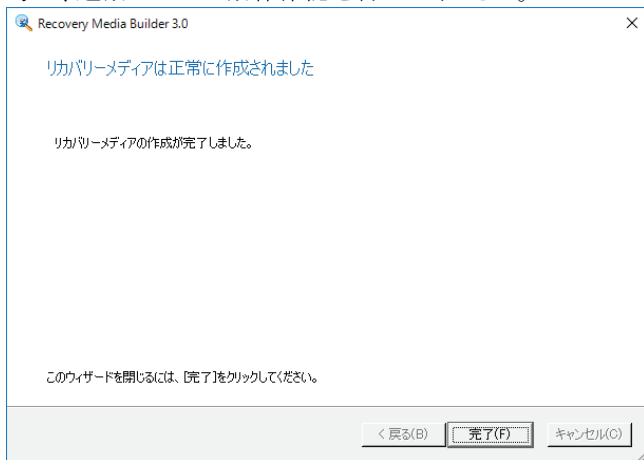
- ※ USB メモリの上書き確認の画面が表示された場合は、ご確認の上「はい」をクリックしてください。**使用する USB メモリは、内部のデータは全て消去されますので、ご注意ください。**



(6) 書き込みが開始されます。



(7) 「完了」をクリックし、完成です。『5. 起動メディアの動作確認』をご参考に、起動 USB の動作確認を行ってください。





### 3. CD に作成する

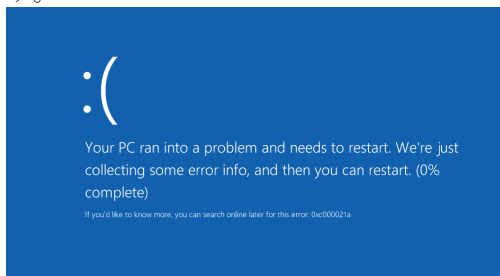
Windows PE 版の起動 CD を作成するには、Windows ADK(アセスメント & デプロイメント キット)が必要です。

起動 CD 作成のおおまかな流れは、ADK をダウンロード、インストールし、Recovery Media Builder (リカバリーメディアビルダー) で PE 版の ISO イメージを作成し、その ISO ファイルを CD に書き込む手順になります。

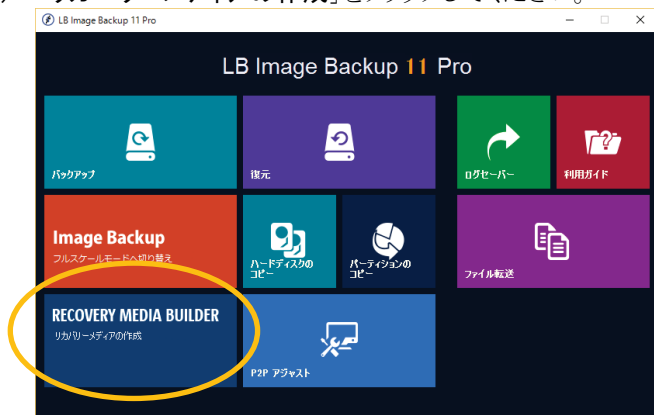
- ※ ご利用の OS が Windows7 の場合は、ADK を使用せずに起動 CD を作成することができます。『2. USB メモリに作成する』の手順で、メディアの種類を「ISO イメージ」を選択して実行してください。
- ※ Windows ADK のインストールには、ハードディスクに 5GB 以上の空き容量が必要になります。空き容量不足などが原因で、起動 CD が作成できない場合は、他の PC で起動 CD を作成するか、または弊社のサポートセンターへご相談ください。
- ※ Windows ADK は Microsoft 社が提供するプログラムです。ダウンロードやインストール時の問題、使用方法などについては、弊社ではサポートいたしかねますので、予めご了承ください。

#### 【ご注意】

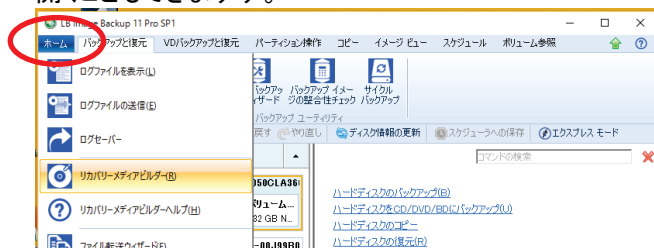
「Windows ADK」を使用する場合、Windows アカウント名に日本語が含まれる環境では、起動 CD が正常に作成されません(起動後に以下のエラー画面が表示され使用できません)。半角英数字のアカウントで実行してください。OS が Windows7 であれば、「2.USB メモリに作成する」手順で、ADK を使用せずに CD に書き込むことが可能です。



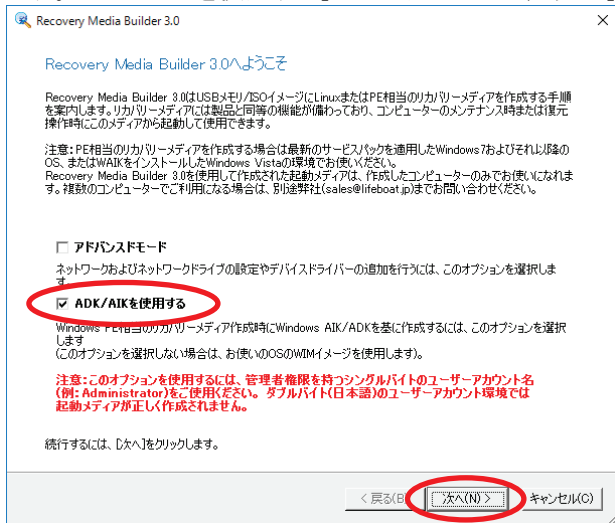
- (1) 製品をインストール後、デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックするか、「スタート」-「すべてのプログラム」-「(製品名)」をクリックして製品を起動してください。
- (2) 「リカバリーメディアの作成」をクリックしてください。



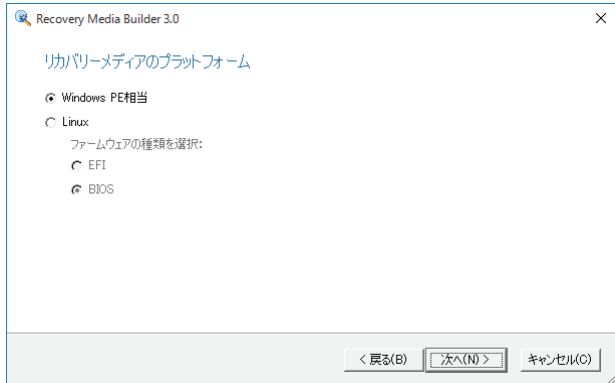
※ または、製品を起動後、「ホーム」-「リカバリーメディアビルダー」から開くこともできます。



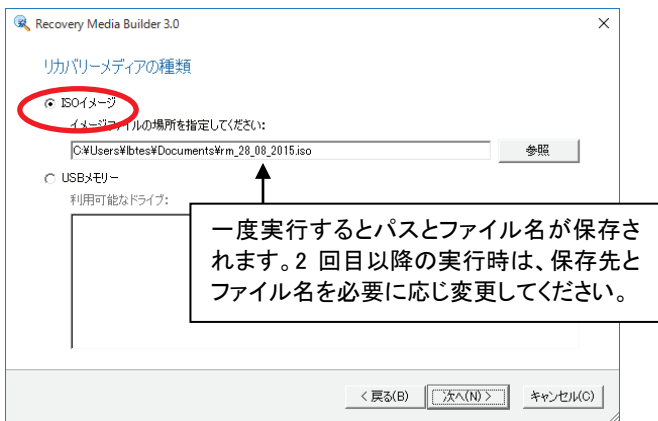
- (3) Recovery Media Builder 3.0(リカバリーメディアビルダー)が起動します。「ADK/AIKを使用する」にチェックを入れ、「次へ」進みます。



- (4) 「WindowsPE 相当」を選択し、「次へ」お進みください。

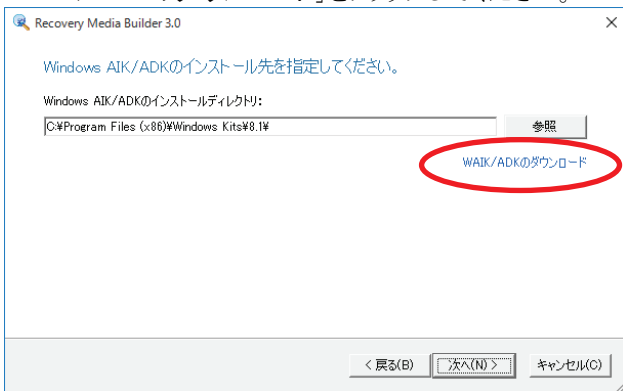


- (5) 「ISO イメージ」を選択して「次へ」をクリックしてください(USB メモリに作成することも可能です)。

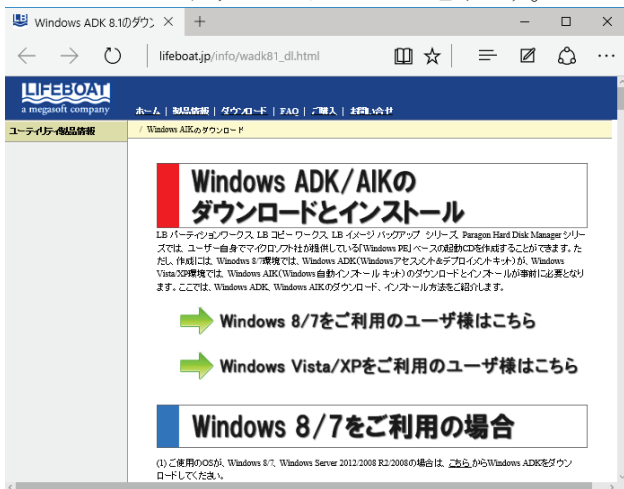


- ※ 初期設定で、ISO ファイルはドキュメントフォルダ内に保存され、作成した日付がファイル名になります。(rm\_日\_月\_年.iso)

- (6) 起動メディアの作成に必要な Windows ADK を入手します。「WAIK/ADK のダウンロード」をクリックしてください。



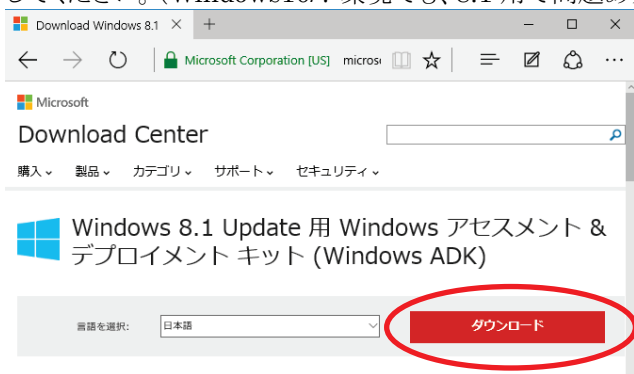
(7) Windows ADKダウンロードページに進みます。



※ 万一開かない場合は、以下の URL にアクセスしてください。

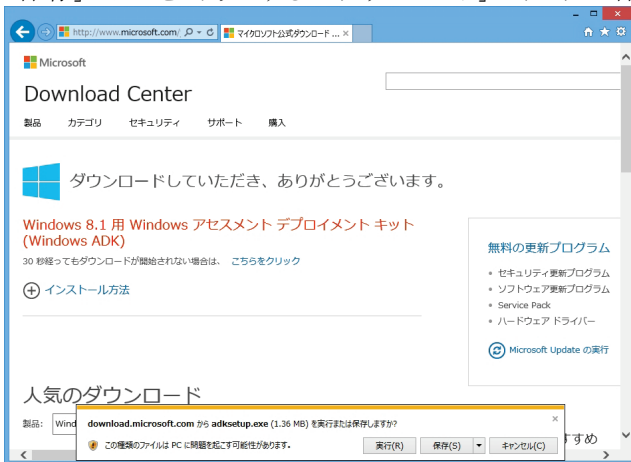
[http://www.lifeboat.jp/info/wadk10\\_dl.html](http://www.lifeboat.jp/info/wadk10_dl.html)

(8) ダウンロードページが表示されたら、「ダウンロード」をクリックし、保存してください。(Windows10/7 環境でも、8.1 用で問題ありません。)



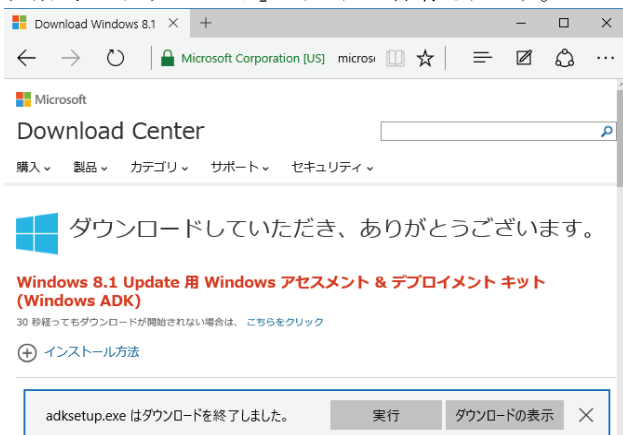
## 【Internet Explorer の場合】

「保存」ボタンをクリックすると「ダウンロード」フォルダに保存されます。

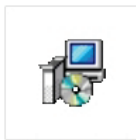


## 【Edge (Windows10) の場合】

自動的に「ダウンロード」フォルダに保存されます。



- (9) ダウンロードできたら、続いて ADK をインストールします。保存後、「実行」をクリックするか、保存先を開いて「adksetup.exe」を実行すると ADK のインストール画面が起動します。



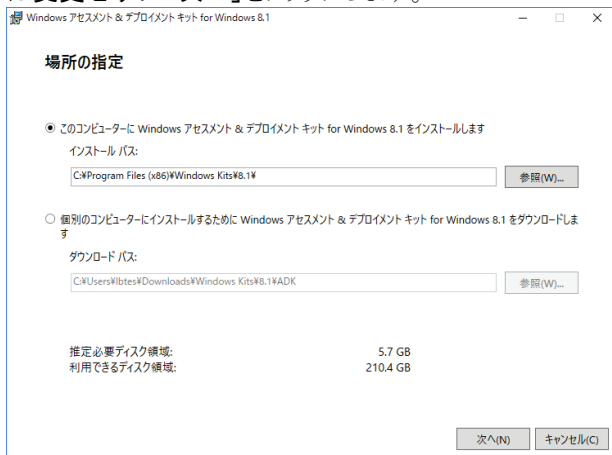
adksetup.exe

※ Windows 7 では、以下の画面が表示されます。



この画面が表示された場合は、「Microsoft.NET Framework のライセンス条項に同意します」にチェックを入れ、「同意してインストールする」をクリックして.NET Framework をインストールしてください。

- (10) インストール画面が表示されたらインストール先を選択します。通常は**変更せず**に「次へ」をクリックします。

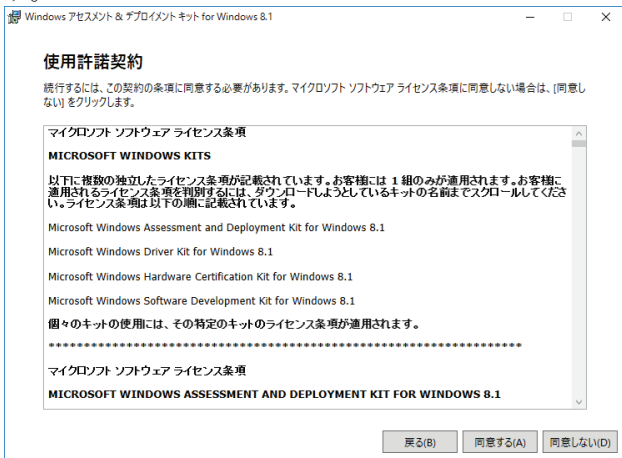


- (11) 「カスタマー エクスペリエンス向上プログラム(CEIP)への参加」の画面が表示されます。参加は任意ですが、ここでは「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。

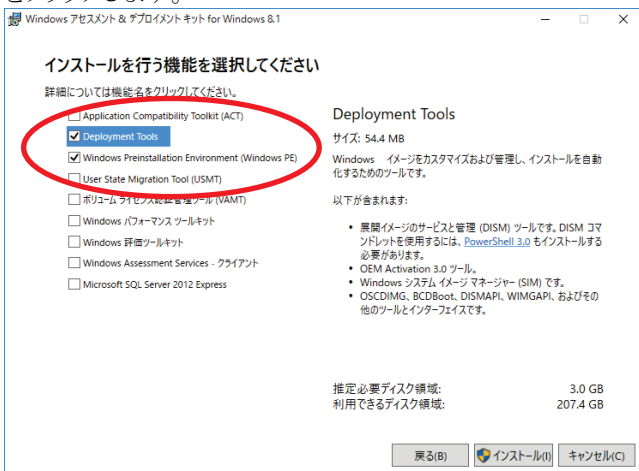




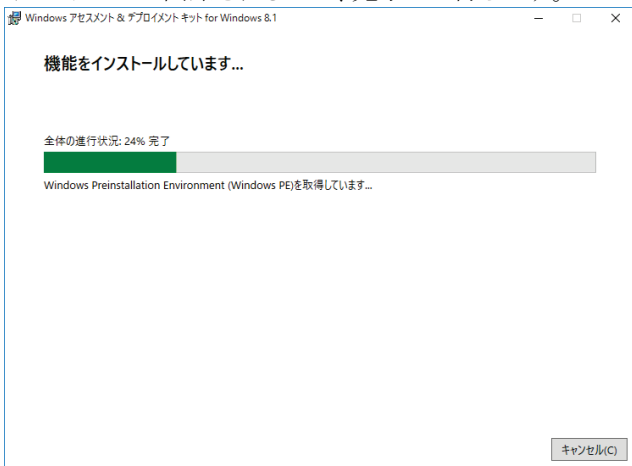
- (12) 「使用許諾契約」の画面が表示されます。「同意する」をクリックします。



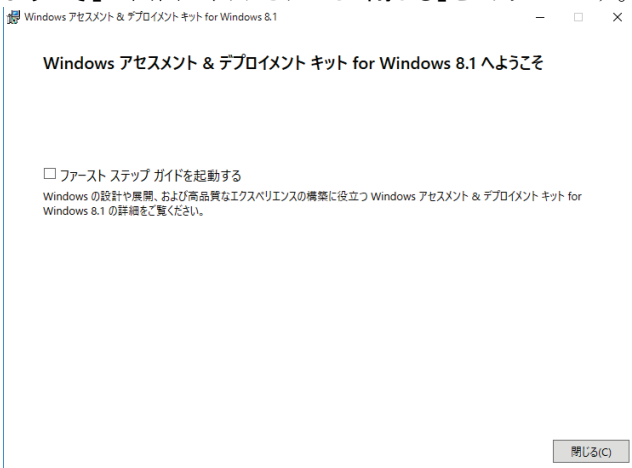
- (13) インストールする機能を選択します。「Deployment Tools」と「Windows Preinstallation Environment (Windows PE)」を選択し、「インストール」をクリックします。



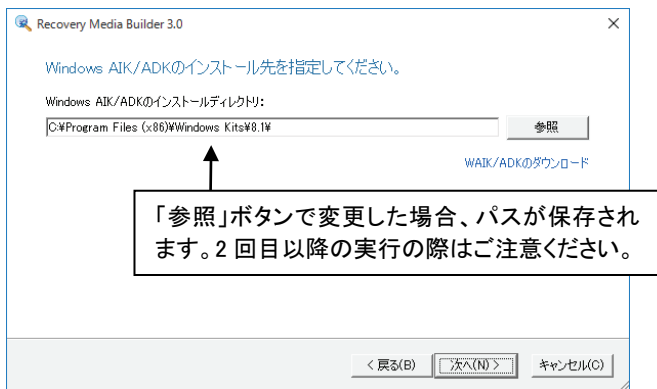
(14) インストールが開始されるので、完了まで待ちます。



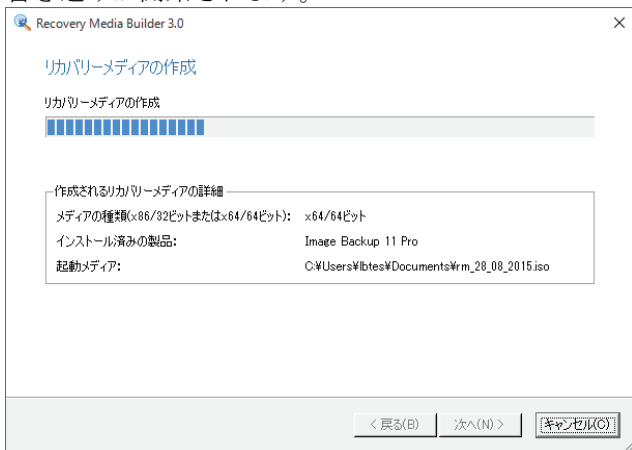
(15) 「Windows アセスメント & デプロイメント キット for Windows 8.1 へようこそ」の画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。



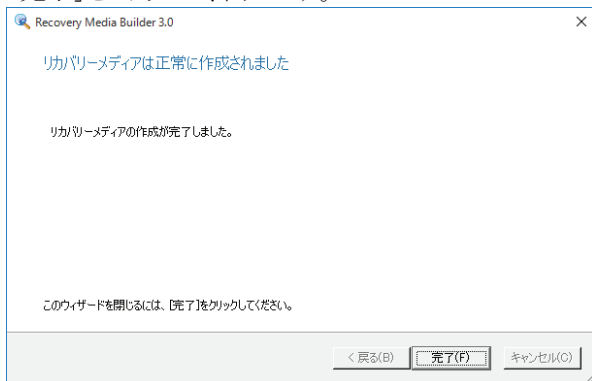
- (16) RecoveryMediaBuilder の画面に戻ります。ADK のインストールが完了しましたので、インストール先を変更していない場合はそのまま「次へ」をクリックしてください。



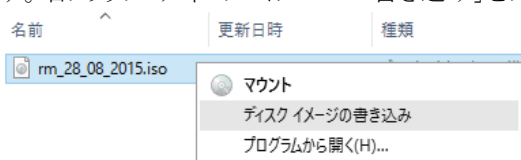
- (17) 書き込みが開始されます。



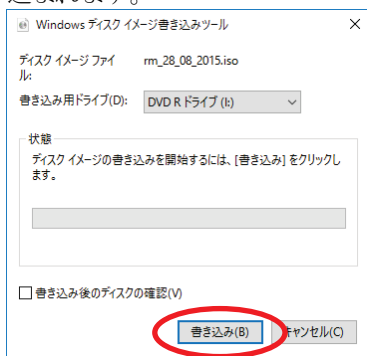
(18) 「完了」をクリックし、閉じます。



(19) ドキュメントフォルダを開くと、ISO イメージファイルが作成されています。右クリック「ディスク イメージの書き込み」をクリックしてください。



(20) 未使用の CD をセットし、「書き込み」をクリックすると、ディスクに書き込まれます。

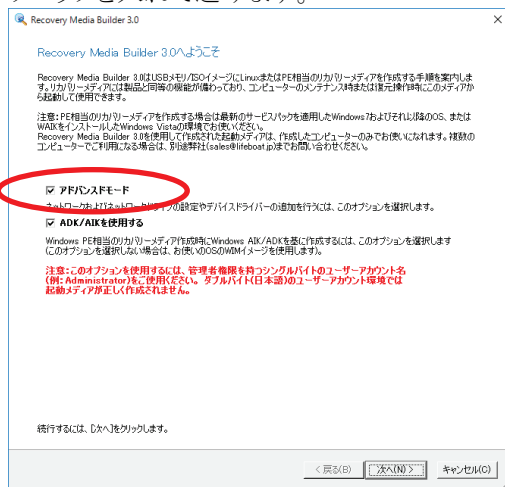


(21) 書き込みが完了したら、「5. 起動メディアの動作確認」をご参照の上、作成したメディアの起動確認を行ってください。

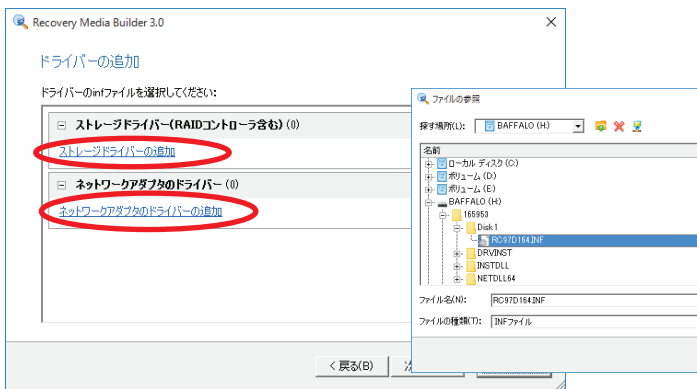
## 4. アドバンスドモード

アドバンスドモードを選択すると、起動メディアに RAID、NIC ドライバーを組み込んだり、ネットワークドライブの自動マウントを行うことが可能です。

- (1) 基本的な手順は、先にご紹介した「2. USBメモリに作成する」、または「3. CD に作成する」と同様になります。Recovery Media Builder 3.0(リカバリーメディアビルダー)を起動して、「アドバンスドモード」にチェックを入れて進みます。

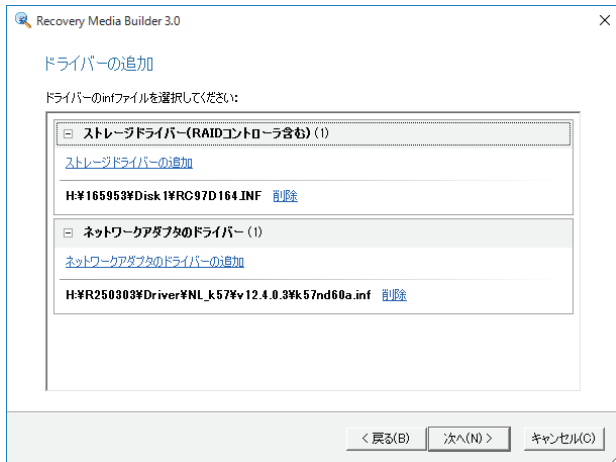


- (2) ウィザード中に、「ドライバーの追加」画面が表示されます。「ストレージドライバーの追加」、「ネットワークアダプタのドライバーの追加」をクリックすると、エクスプローラが開きますので、ドライバファイルを選択してください。

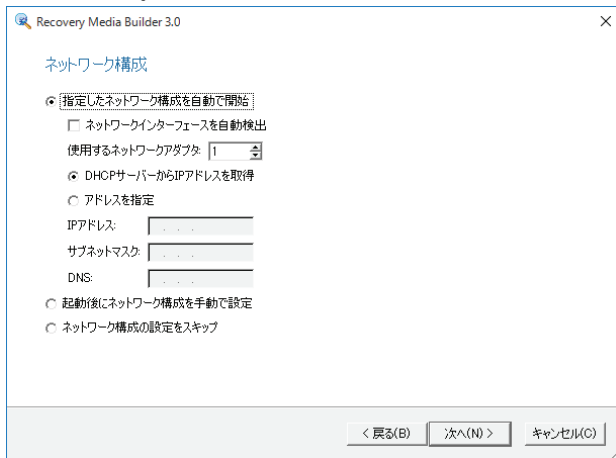


- ※ この機能はメディアから起動後にご利用のネットワークや RAID 構成のハードディスクが標準で認識できない場合に使用します。ここでご利用環境に応じたドライバーを追加すると、メディアから起動後すぐに認識されます。
- ※ 環境に適したドライバーの入手方法については、ハードメーカーにお問い合わせください。事前に正しいドライバーであることを確認してから作成されることを推奨します。
- ※ ここでドライバーを追加しない場合も、メディアから起動後にその都度手動で読み込むこともできます。

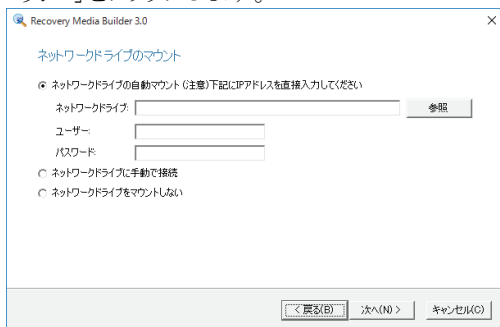
(3) ドライバーが追加されたら「次へ」をクリックしてください。



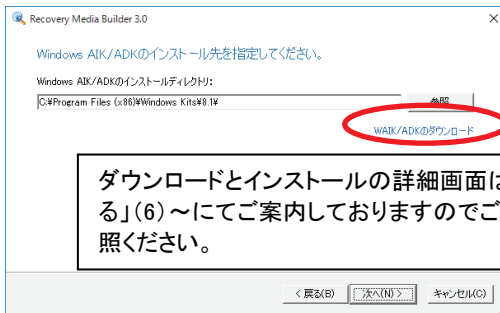
(4) 「ネットワーク構成」の画面が表示されます。メディアから起動後にネットワークドライブを使用する場合は「指定したネットワーク構成を自動で開始」を選択してください。  
使用しない場合は「起動後にネットワーク構成を手動で設定」を選択してください。



- (5) 「ネットワークドライブのマウント」画面が表示されます。「ネットワークドライブの自動マウント」を選択すると、メディアから起動後にネットワークドライブを自動でマウントさせることが可能です。ネットワークドライブへのパス、ユーザー名、パスワードを入力してください。自動マウントが不要であれば、「ネットワークドライブに手動で接続」を選択して「次へ」をクリックします。



- (6) CD に書き込む場合は以下の画面が表示されます。Windows ADK をインストールする必要がありますので、「WAIK/ADKのダウンロード」をクリックしてください。ダウンロードページが開きます。画面にそって「Windows8.1Update 用 WindowsADK」をダウンロードし、インストールしてください。インストールできましたら、この画面の「次へ」をクリックしてください。



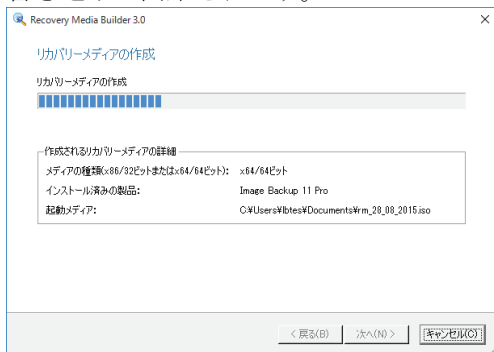
ダウンロードとインストールの詳細画面は「3. CD に作成する」(6) ~にてご案内しておりますのでご不明な場合はご参照ください。

※ ダウンロードページの URL は下記の通りです。

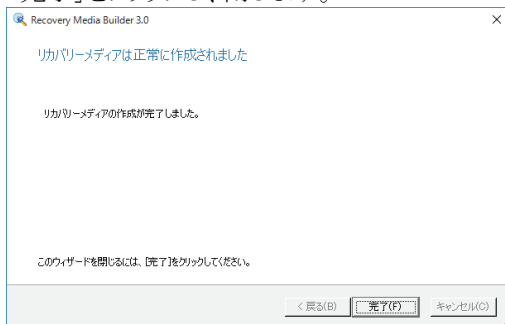
[http://www.lifeboat.jp/info/wadk10\\_dl.html](http://www.lifeboat.jp/info/wadk10_dl.html)



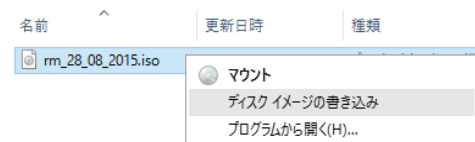
(7) 書き込みが開始されます。



(8) 「完了」をクリックし、閉じます。



※ CD に書き込む場合は、ドキュメントフォルダを開くと、ISO イメージファイルが作成されています。右クリック「ディスク イメージの書き込み」をクリックし、CD に書き込みを行ってください。



(9) 完成したメディアは、「5. 起動メディアの動作確認」をご参照の上、起動の確認を行ってください。

## 5. 起動メディアの動作確認

(1) Windows PE 版の起動 CD/USB メモリをセットして PC を再起動します。CD/USB メモリからブートされ、以下の画面が表示されます。表示されずに OS が起動してしまう場合には、PC メーカー独自のブートメニューが用意されていないか、または BIOS の設定を確認してください。

※ CD 起動中の画面はご利用の環境によって異なり、起動に時間がかかることがあります。以下は CD 起動中の画面の例ですが、起動中にメーカー固有のロゴが表示される機種もあります。



## CD から起動できない場合

電源投入時のメーカーロゴ画面で特定キーを押して「起動(ブート)メニュー」画面を出し、CD 起動を指定しないと CD 起動できない PC メーカーもあります。(例:DELL、富士通、東芝は「F12」キーで「起動メニュー」を出します)

### Boot Menu

```
=====
* Removable Devices
* Hard Drive
* CD/DVD Drive
* UEFI:CD/DVD Drive
```

起動メニューから CD 起動を行う際は、Windows を起動させてから再起動するなど、予め CD をセットした状態で起動メニューを表示させてください。

PCによっては、起動メニューに、通常の CD ドライブだけでなく、「UEFI (CD ドライブ名)」の項目が表示されるものがあります。その場合は、GPT ディスクなら UEFI...を、MBR ディスクなら通常の CD ドライブを選択してください。GPT ディスクかを確認する手順は、利用ガイドの「BIOS / UEFI のどちらかを採用しているか確認する」を参照してください。

- ※ メーカーロゴ画面で特定のキーを押すと起動できる機種や、BIOS でシステムを読み込むデバイスの優先順位を変更しなければならない機種もあります。CD 起動のサポートの有無、CD 起動指定キー、BIOS の設定方法などは、パソコンのマニュアルを参照するか、製造元にご確認ください。(以下は BIOS の設定画面の一例です、)

The screenshot shows the PhoenixBIOS Setup Utility interface. The 'Boot' tab is selected. Under 'CD-ROM Drive', the following options are listed: '+Removable Devices', '+Hard Drive', and 'Network boot from AMD Am79C970A'. A red box highlights these options, and a red arrow points to a text box below. The text box contains the instruction: '優先順位の変更を行い、CD-ROM が最初にブートされるように設定します。' (Change the priority and set CD-ROM to be booted first.)

PhoenixBIOS Setup Utility

Main Advanced Power Boot Exit

CD-ROM Drive

- +Removable Devices
- +Hard Drive
- Network boot from AMD Am79C970A

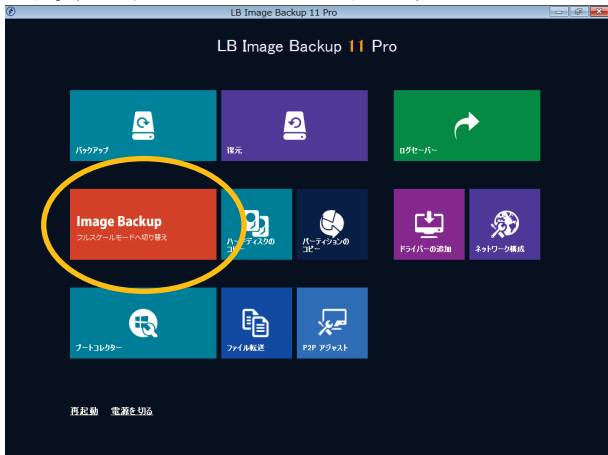
Item Specific Help

Keys used to view or configure devices:

- <Enter> expands or collapses devices with a \* or -
- <Ctrl+Enter> expands all
- <Shift + 1> enables or disables a device.
- <> and <-> moves the cursor up or down.
- Space moves cursor between Hard Drive and Removable Disk
- Del removes a device
- Ins inserts a device not installed.

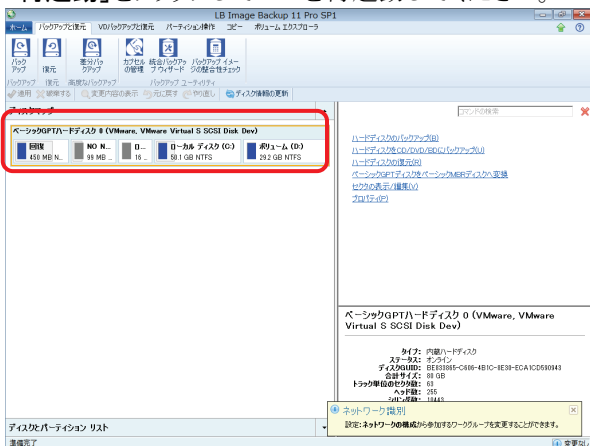
F1 Help F11 Select Item +/- Change Values F9 Setup Defaults  
Esc Exit +/- Select Menu Enter Select > Sub-Menu F10 Save and Exit

- (2) 起動すると、以下のメニュー画面が表示され、操作可能な状態になります。製品名のタイルをクリックすると、メイン画面が起動します。

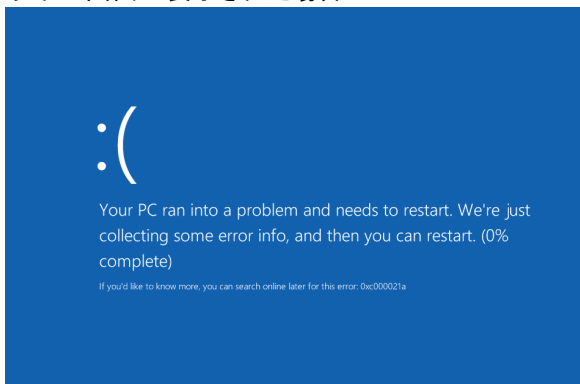


- ※ ここでは、例として LB イメージ バックアップ 11 Pro の画面を使用しています。

- (3) メイン画面が起動します。ここで、ハードディスクが正しく認識されているか確認してください。確認後にメイン画面を閉じてメニューから「再起動」をクリックして PC を再起動してください。

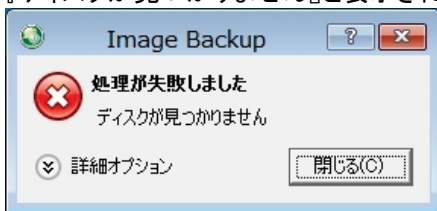


※ 以下の画面が表示された場合



このメッセージは、起動 CD を日本語ユーザーアカウントの環境で作成した時に発生するエラーです。半角英数字のアカウントで作成しなおしてください。

※ 『ディスクが見つかりません』と表示された場合



このメッセージは、主に SCSI、RAID、最新のチップセットなどが搭載されている機種で、ご利用のハードディスク コントローラが、Windows PE に標準で組み込まれているドライバで対応できない場合に表示されます。ディスクを認識させるには、ご利用の環境に対応したドライバを読み込ませる必要があります。手順については、利用ガイドの「サードパーティ製ドライバの追加方法」を参照してください。

※ 起動 CD を作成する際に、予めご利用の環境に対応したドライバを追加して CD を作成すると、このメッセージは表示されず、ディスクが認識されるようになります。ドライバを追加した CD を作成する手順については、「4.アドバンスドモード」を参照してください。

